

「鉄骨に挟まれた…」

ユニック作業中に鉄骨が崩れ、

下敷きになった男性死亡

2018/7/12(木) 19:13

12日午前9時半ごろ、「作業員が鉄骨に挟まれた」と別の作業員から消防に通報がありました。

愛知県にある建設会社で、ユニックを操作して鉄骨を積み上げていた男性作業員（50歳代）が、崩れた鉄骨の下敷きになり、死亡しました。

崩れた鉄骨は1本の重さが180キロほどで、当時、男性作業員はリモコンでユニックを操作して鉄骨を積み上げる作業をしていましたが、このユニックが鉄骨に当たって崩れたとみられています。

警察で事故の詳しい状況を調べています。